

2024年11月28日

株式会社不二越

日本海ガス絆ホールディングスグループ
日本海ガス株式会社

滑川事業所におけるP P Aモデルを活用した太陽光発電システムの導入
～ カーボンニュートラルの推進に向けた再生可能エネルギーの活用 ～

株式会社不二越（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：黒澤 勉、以下「不二越」）と日本海ガス絆ホールディングスグループの日本海ガス株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：土屋 誠、以下「日本海ガス」）は、太陽光発電システムP P Aモデル（第三者所有モデル）に関する契約を締結し、不二越 滑川事業所にて太陽光発電システム 1,447.68kW を運用開始しましたことを下記のとおりお知らせいたします。

不二越はカーボンニュートラルに向け、2022 年より富山事業所での再生可能エネルギー導入を進めてまいりました。今回、滑川事業所において、P P Aモデルを活用した太陽光発電システムを初めて導入いたしました。

P P A事業者である日本海ガスは、不二越事業所内に機器を設置し、発電した電力を不二越へ全量供給するエネルギーサービスを行います。

この度の導入により、すでに導入済みの富山事業所と合わせると、太陽光発電システムは合計 2,342.86kW となりました。これにより、合計で年間約 1,000t の CO₂ 排出量削減[※]が見込まれます。

不二越、日本海ガスは、引き続き再生可能エネルギーの導入・普及などを通じ、気候変動への対応を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※CO₂ 排出削減想定量は、「地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック」（環境省 地球環境局発行 令和6年4月改訂）に基づき算出

◆導入システム概要

設置機器	自家消費型太陽光発電システム 1,447.68 kW（パネル 3,016 枚） 遠隔監視・計測システム 非常用コンセント
設置場所	株式会社 不二越 滑川事業所 油圧モータ第2工場 富山県滑川市大掛176番地
導入目的	① カーボンニュートラル実現に向けた取り組み ② 再生可能エネルギーの地産地消（自家消費モデル） ③ 環境関連法規への対応（省エネルギー法、工場立地法） ④ 停電時の緊急電源としての活用（レジリエンスの強化）





自家消費型太陽光発電システム（不二越 滑川事業所 油圧モータ第2工場）

◆ P P Aモデル（第三者所有モデル）：

電力使用者（不二越）が敷地や屋根などのスペースを提供し、太陽光発電設備の所有・管理を行う P P A 事業者（日本海ガス）が発電システムを設置して、そこで発電された電力を電力使用者へ供給する契約形態です。

以上

◆本件に関するお問合せ

日本海ガス株式会社

エネルギー営業部 産業エネルギーグループ 伊東、米田

TEL：076-431-1400

株式会社 不二越

TQC・TPM 推進本部 エネルギー課 喜内

TEL：076-423-6523

◆その他お問合せ

日本海ガス絆ホールディングス株式会社

人事広報部 CSR 推進グループ 谷田

TEL：076-443-1812